

FURUTECH

Review

福田屋 ケーブル / アクセサリー総集編

- JAPAN



フルテックのインラインフィルター (写真上) や電源ボックス (F-TP615) にも採用の、EMIフィルター内蔵 IECインレット、AC-1001(R) (¥4,410、写真左)

自作のケーブル部には、オヤイデNEOのPCOCC-A 撚り線導体、BLACK MAMBA (オープン価格、実勢価格¥4,536/m) を採用

効果的な電源ノイズフィルターを用いてその効果と魅力を自作・検証してみた

フルテックの単売モジュールで性能を追求した自作品を製作!

フルテックの電源ボックス f・TP 615 や、インラインフィルター FTLu x・50 Filter で使われている、EMI フィルター内蔵 IEC インレット、AC・1001 が単売されている。これを採用した製品は、いずれも効果的な性能を発揮しているため、そのパーツが単売されているというのは自作に挑戦してみる価値がありそうだ。発売以来、いくつか試作してきたが、今回は納得できるベストな性能といえるだろう。

パーツ構成は、フィルターモジュールと IEC コネクターをケーブルで接続するだけのシンプルなもの、無ハンダで

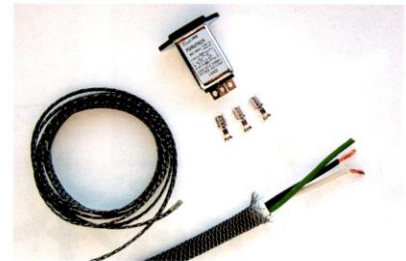
製作可能。難しくはないが、ケーブルや端子など細かな素材パーツの性能や、工作方法が大きく関係する。今回、高性能を可能にしたのは、フィルター端子に無ハンダで接続できる、オヤイデから登場したロジウムメッキのファストン端子の採用、そして IEC コネクターにフルテックの電極下地メッキを改良したロジウムメッキの最新版 FI・LI・NI (R) や、ロジウムメッキのプラグ用 Y ラグなど、最新の高品質部品を投入できた点にある。

高 SN 比、解像度、高域特性を徹底するには、やはりロジウムメッキが有利である。重要なケーブル部には、解像度の高いオヤイデ NEO の PCOCC・A 撚り線導体、外径 13φ の BLACK MAMBA を 25cm。メッシュ仕上げ材は、ポ

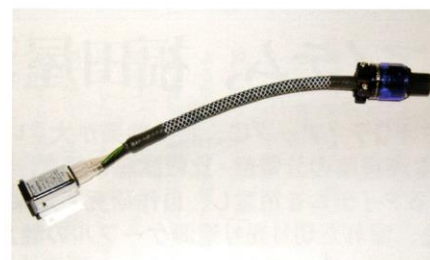
リエチレン・テフタレート材のリフレクタスチューブの 6・35mm。固定にはスコッチの 0・6mm 厚超強力両面テープ、SKD・12。ケーブル両端は、スミチューブ (熱収縮チューブ) を使い仕上げる。

フィルターモジュールは、直列にチョークコイル、並列にコンデンサーの回路、ロジウムメッキ電極、エポキシを充填した制振構造となっている。100kHz で約 8dB、500kHz で約 14dB 減衰する特性である。フィルター出力は L・N・G (アース) の 3 端子。写真は G を配線しているが、強度を得るため、IEC コネクター側のアースは無接続としている。ファストン端子をケーブルに接続するには、簡易的な専用工具よりもラジペンチでいねいにしつかり折り曲げて固定する方がうまくできる場合もある。2カ所のカシメ部は、先端側は導体

接続部は、オヤイデのオーディオ用ファストン端子 FT Series のシルバー+ロジウム仕上げ FTL-SR (¥945/4個) を使用。メッシュ仕上げ材は、ポリエチレンテフタレート材のリフレクタスチューブ 6.35mm (¥903/m) を採用



を、根元側は絶縁体を締めるように処理する。一方、プラグ用 Y ラグのリングは簡易型でも可能だが、専用の圧着工具が必要だ。



完成した、自作の電源ノイズフィルター。ケーブル両端はスミチューブ (熱収縮チューブ) で仕上げる

